

平成28年1月4日

交通局交通企画課

## 「平成27年中の交通事故死者数について」

～ 15年ぶりに増加 ～

○ 平成27年中の交通事故死者数（24時間以内）

4, 117人（前年比+4人、+0.1%）

## 【添付資料】

1	交通事故発生状況の推移	1
2	月別交通事故死者数の推移	2
3	都道府県別交通事故死者数	3
4	高齢者死者数の推移	4
5	飲酒死亡事故件数の推移	4
6	死者3人以上の交通事故の発生状況	5
7	国家公安委員会委員長のコメント	6
8	警察庁長官のコメント	7

# 1 交通事故発生状況の推移

年	発生件数		負傷者数		死者数	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数
昭和 23 年	21,341	...	17,609	...	3,848	23
24	25,113	...	20,242	...	3,790	23
25	33,212	...	25,450	...	4,202	25
26	41,423	...	31,274	...	4,429	26
27	58,487	...	43,321	...	4,696	28
28	80,019	...	59,280	...	5,544	33
29	93,869	...	72,390	...	6,374	38
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38
31	122,691	...	102,072	...	6,751	40
32	146,833	...	124,530	...	7,575	45
33	168,799	...	145,432	...	8,248	49
34	201,292	...	175,951	...	10,079	60
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72
36	493,693	...	308,697	31	12,865	77
37	479,825	...	313,813	32	11,445	68
38	531,966	...	359,089	37	12,301	73
39	557,183	...	401,117	41	13,318	79
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62
平成 元 年	661,363	92	814,832	83	11,086	66
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67
3	662,392	92	810,245	83	11,109	66
4	695,346	97	844,003	86	11,452	68
5	724,678	101	878,633	90	10,945	65
6	729,461	102	881,723	90	10,653	64
7	761,794	106	922,677	94	10,684	64
8	771,085	107	942,204	96	9,943	59
9	780,401	109	958,925	98	9,642	58
10	803,882	112	990,676	101	9,214	55
11	850,371	118	1,050,399	107	9,012	54
12	931,950	130	1,155,707	118	9,073	54
13	947,253	132	1,181,039	120	8,757	52
14	936,950	130	1,168,029	119	8,396	50
15	948,281	132	1,181,681	120	7,768	46
16	952,720	133	1,183,617	121	7,436	44
17	934,346	130	1,157,113	118	6,937	41
18	887,267	124	1,098,564	112	6,415	38
19	832,704	116	1,034,652	105	5,796	35
20	766,394	107	945,703	96	5,209	31
21	737,637	103	911,215	93	4,979	30
22	725,924	101	896,297	91	4,948	30
23	692,084	96	854,613	87	4,691	28
24	665,157	93	825,392	84	4,438	26
25	629,033	88	781,492	80	4,388	26
26	573,842	80	711,374	73	4,113	25
27	536,789	75	665,126	68	4,117	25

死者数が過去最悪の年

昭和45年以降、初めて1万人を下回る

昭和50年以降、再び1万人を上回る

昭和62年以降9年振りに1万人を下回る

昭和56年以降20年振りの8千人台

ピーク時(昭和45年)の半減を達成

昭和32年以降46年振りの7千人台

昭和31年以降49年振りの6千人台

昭和28年以降54年振りの5千人台

昭和27年以降57年振りの4千人台

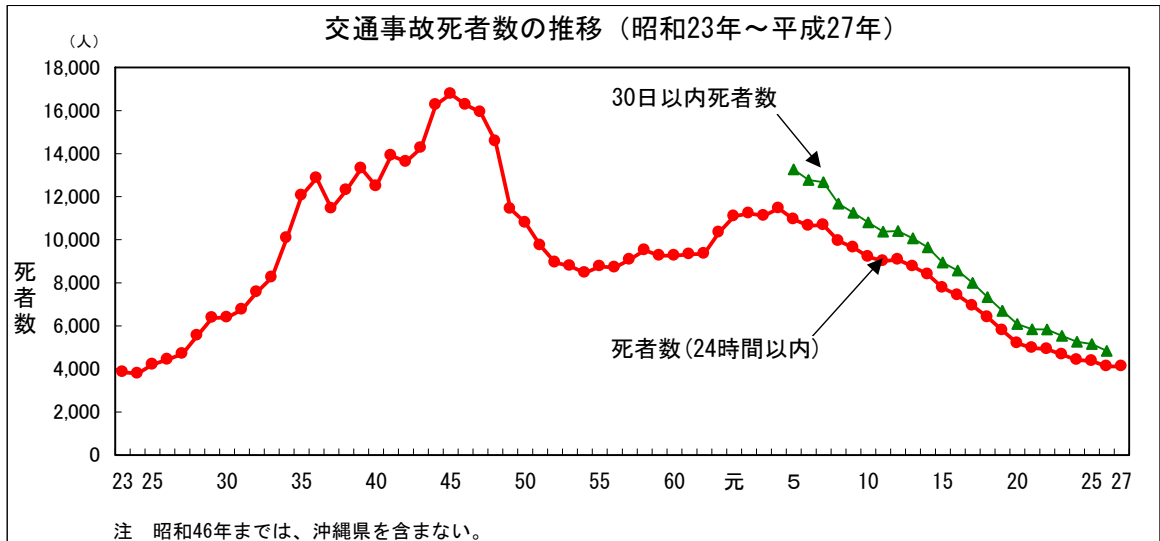
注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。

2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。

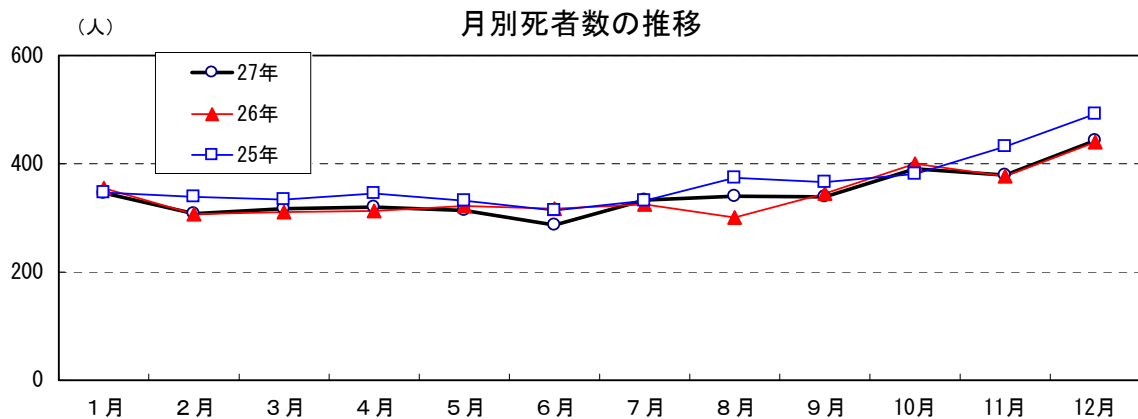
3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。

4 指数は、昭和45年を100とした値である。

5 平成27年の発生件数及び負傷者数は、交通事故日報集計システムにより集計された概数である。



## 2 月別交通事故死者数の推移



○ 月別死者数の推移

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
平成	17年	564	472	575	531	500	514	3,156	582	615	638	616	656	674	3,781	6,937
	18	537	427	555	490	476	472	2,957	528	569	510	548	650	653	3,458	6,415
	19	496	454	453	424	432	427	2,686	474	528	475	549	511	573	3,110	5,796
	20	403	362	391	404	387	372	2,319	449	477	398	504	491	571	2,890	5,209
	21	384	364	387	357	406	354	2,252	381	440	407	468	489	542	2,727	4,979
	22	393	354	368	356	380	357	2,208	410	437	415	469	426	583	2,740	4,948
	23	333	363	383	378	346	347	2,150	365	410	378	472	431	485	2,541	4,691
	24	326	325	342	341	310	302	1,946	347	392	373	440	435	505	2,492	4,438
	25	347	339	334	345	332	314	2,011	332	374	366	381	432	492	2,377	4,388
	26	355	307	311	313	322	317	1,925	325	301	345	400	377	440	2,188	4,113
	27	346	308	317	320	314	287	1,892	333	340	339	391	379	443	2,225	4,117
	増減数	-9	1	6	7	-8	-30	-33	8	39	-6	-9	2	3	37	4
	増減率	-2.5	0.3	1.9	2.2	-2.5	-9.5	-1.7	2.5	13.0	-1.7	-2.3	0.5	0.7	1.7	0.1
	1日当たり死者数	11.2	11.0	10.2	10.7	10.1	9.6	10.5	10.7	11.0	11.3	12.6	12.6	14.3	12.1	11.3

注 増減数(率)は、前年と比較した値である。

### [参考]

#### ○ 死者の最多・最少日

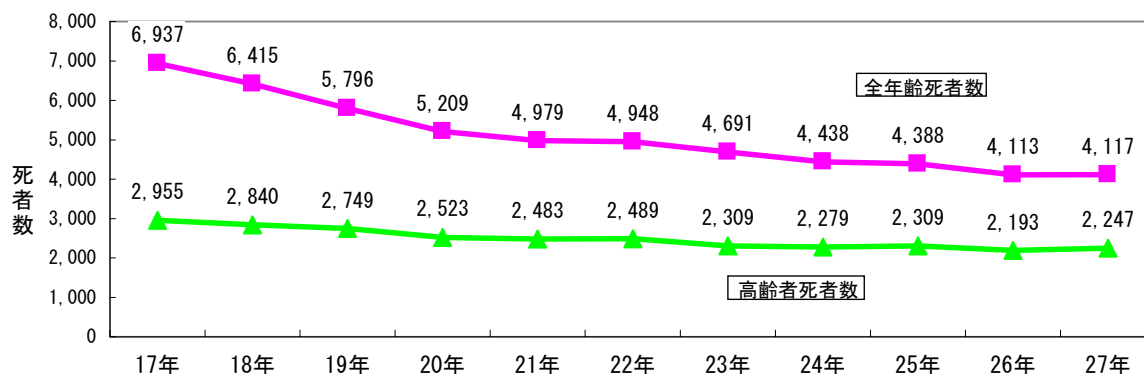
- ・ 最多日 26人：12月25日(金)
- ・ 最少日 3人：2月5日(木)

### 3 都道府県別交通事故死者数

都道府県名		1月1日～12月31日					順位
		23年	24年	25年	26年	27年	
北海道	札幌	87	95	93	82	94	—
	函館	14	13	14	16	11	—
	旭川	41	37	29	33	30	—
	釧路	31	42	31	29	29	—
	北見	17	13	17	9	13	—
	計	190	200	184	169	177	5
東北	青森	54	59	48	54	40	41
	岩手	66	83	72	64	80	19
	宮城	67	64	88	83	66	28
	秋田	57	42	48	37	38	42
	山形	50	37	39	44	57	30
	福島	94	89	79	87	77	22
計	388	374	374	369	358	—	
東京	215	183	168	172	161	8	
関東	茨城	169	142	163	132	140	11
	栃木	111	94	101	102	98	13
	群馬	97	106	73	67	68	27
	埼玉	207	200	180	173	177	5
	千葉	203	202	201	182	180	3
	神奈川	180	179	168	185	178	4
	新潟	133	107	107	103	97	14
	山梨	39	40	38	49	33	44
	長野	115	97	100	82	69	26
	静岡	164	155	184	143	153	9
計	1,418	1,322	1,315	1,218	1,193	—	
中部	富山	50	47	53	44	70	25
	石川	44	44	61	55	46	36
	福井	61	37	57	49	47	35
	岐阜	102	121	125	93	106	12
	愛知	276	235	219	204	213	1
	三重	95	95	94	112	87	16
計	628	579	609	557	569	—	
近畿	滋賀	85	79	74	63	73	24
	京都	103	106	70	69	87	16
	大阪	197	182	179	143	196	2
	兵庫	198	179	187	182	171	7
	奈良	47	49	42	45	46	36
	和歌山	54	50	47	39	48	33
計	684	645	599	541	621	—	
中国	鳥取	26	30	25	34	38	42
	島根	31	45	28	26	27	46
	岡山	106	112	107	90	87	16
	広島	113	125	116	117	95	15
	山口	74	56	65	58	64	29
	計	350	368	341	325	311	—
四国	徳島	49	32	49	31	27	46
	香川	76	81	55	52	52	31
	愛媛	91	56	70	75	78	21
	高知	46	53	42	41	30	45
	計	262	222	216	199	187	—
九州	福岡	157	161	145	147	152	10
	佐賀	49	46	46	56	48	33
	長崎	47	39	47	49	45	39
	熊本	86	82	82	76	79	20
	大分	45	40	60	56	46	36
	宮崎	49	50	59	49	52	31
	鹿児島	78	87	91	94	77	22
	沖縄	45	40	52	36	41	40
計	556	545	582	563	540	—	
合計	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	—	

## 4 高齢者（65歳以上）死者数の推移

高齢者（65歳以上）死者数の推移（各年12月末）



○ 高齢者（65歳以上）死者数の推移（各年12月末現在）

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	増減数	増減率	指数
高齢者	2,955	2,840	2,749	2,523	2,483	2,489	2,309	2,279	2,309	2,193	2,247	54	2.5	76
全年齢	6,937	6,415	5,796	5,209	4,979	4,948	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	4	0.1	59
高齢者構成率	42.6	44.3	47.4	48.4	49.9	50.3	49.2	51.4	52.6	53.3	54.6	—	—	—

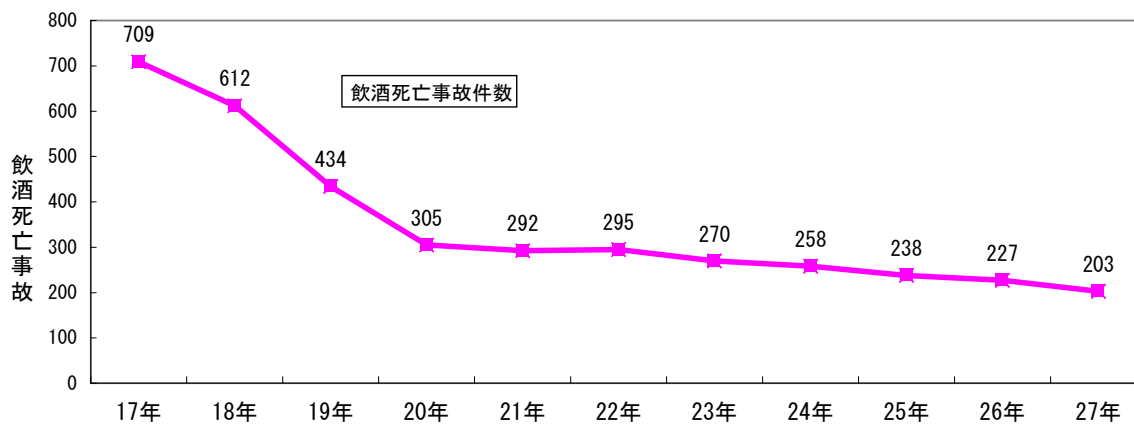
注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

注2 指数は、平成17年を100としたものである。

注3 平成27年の高齢者死者数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより集計された概数である。

## 5 飲酒死亡事故件数の推移

飲酒死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 原付以上運転者（第1当事者）の飲酒死亡事故件数の推移（各年12月末現在）

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	増減数	増減率	指数
飲酒死亡事故	709	612	434	305	292	295	270	258	238	227	203	-24	-10.6	29

注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

注2 指数は、平成17年を100としたものである。

注3 平成27年の飲酒死亡事故件数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより集計された概数である。

## 6 死者3人以上の交通事故の発生状況（平成27年12月28日現在）

NO	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	1月31日 2時40分ころ	国道 (香川)	死亡5	普通乗用1	高松市内の国道において、普通乗用車が高速道路の橋脚に衝突し、乗員5人が死亡したものの。
2	6月6日 22時34分ころ	国道 (北海道)	死亡4 重傷1	普通乗用1 普通貨物1 軽四貨物1	砂川市内の国道の信号交差点において、普通乗用車と軽四貨物車が出合頭に衝突し、軽四貨物車の乗員5人が死傷したものの。なお、軽四貨物車の同乗者2人は車外放出され、うち1人が後続車である普通貨物車と衝突したものの。
3	8月4日 10時46分ころ	高速 (鳥取)	死亡3 重傷1	普通乗用1 軽四乗用1	鳥取市内の高速道路上において、普通乗用車が簡易中央分離帯を突破して対向車線に進出し、対向車線を進行していた軽四乗用車と衝突し、普通乗用車の運転手が重傷、同乗者3人が死亡したものの。
4	8月27日 0時17分ころ	村道 (奈良)	死亡5	普通乗用1	明日香村内の村道において、普通乗用車が橋の欄干に衝突し、乗員5人が死亡したものの。
5	11月17日 21時20分ころ	国道 (愛媛)	死亡3 軽傷1	普通乗用1 大型貨物1	四国中央市内の国道において、普通乗用車が対向車線に進出し、対向車線を進行していた大型貨物車等と正面衝突し、普通乗用車の運転手が軽傷、同乗者3人が死亡したものの。
6	12月4日 8時45分ころ	道道 (北海道)	死亡3 重傷2	普通乗用1 軽四乗用1	常呂郡佐呂間町内の道道において、普通乗用車が対向車線に進出し、対向車線を進行していた軽四乗用車と衝突し、普通乗用車の乗員5人のうち同乗者3人が死亡、1人が重傷、軽四乗用車の運転手が重傷を負ったものの。

※ 平成27年12月28日までに発生し、各都道府県警察から報告を受けたものを集約した。

## 7 国家公安委員会委員長のコメント

昨年交通事故による死者数は、4,117人で、15年ぶりに増加となりました。

第9次交通安全基本計画において掲げた「平成27年までに24時間死者数を3,000人以下」とするという目標についても、これまで達成に向け努力してまいりましたが、残念ながら実現できませんでした。

交通事故における致死率の高い高齢者の人口の増加が近年の交通事故死者数を押し上げる要因の一つとなっており、昨年の交通事故死者に占める65歳以上の高齢者の比率は過去最も高くなっております。

また、飲酒運転等の悪質・危険な運転による悲惨な交通事故も後を絶たないところであり、いまだ多くの尊い命が交通事故の犠牲となっております。

交通事故のない安全で快適な交通社会を実現することは、国民全ての願いであり、政府の重要課題であります。

さらに、本年は、第10次交通安全基本計画がスタートする年であります。

国家公安委員会としては、交通事故死者数が増加に転じたことを厳しく受け止め、政府が目標とする「世界一安全な道路交通の実現」に向け、引き続き、強い決意をもって当たります。高齢者や歩行者の安全確保を図るための諸対策、悪質・危険な違反の取締り、計画的な交通安全施設の整備など、地域の交通実態に即した総合的な交通事故防止対策をなお一層強力に推進するよう警察を指導し、交通死亡事故等のさらなる減少を目指してまいりたいと考えております。

国民の皆様方には、より一層の交通安全の取組や安全行動の実践をお願いします。

## 8 警察庁長官のコメント

昨年は、交通事故の発生件数及び負傷者数は、11年連続の減少となりましたが、交通事故による死者数は4,117人で、残念ながら15年ぶりの増加となりました。

交通事故死者数が増加した要因としては、事故に遭った際の致死率が高い高齢者の人口が増加していることなどが挙げられるところであり、昨年は、高齢者の交通事故死者数が前年比で54人増加するとともに、交通事故死者に占める高齢者の割合が54パーセントを超えております。

また、飲酒運転等の悪質・危険な違反による交通事故が発生し、多くの尊い命が犠牲となっている状況に変わりはありません。

本年は、第10次交通安全基本計画がスタートする年であります。

警察としては、交通事故死者数が増加に転じたことを厳しく受け止め、各界各層との連携を一層強化し、高齢者や歩行者の安全確保を図るための交通安全教育や街頭活動、悪質・危険な違反の取締り、計画的な交通安全施設の整備などの総合的な交通事故防止対策を強力に推進するとともに、昨年6月に成立した改正道路交通法の円滑な施行に向けた準備作業を着実に推進するなど、交通事故死者数の更なる減少に向け、なお一層取り組んでまいりたいと考えております。



## 交通安全基本計画の推移

	計画期間	目 標	結 果
第一次	昭和46年度 ～50年度	＜昭和50年の目標＞ 昭和50年における歩行中の交通事故死者数（予測値）の半減 8,000人 → 4,000人以下	昭和45年の歩行中の交通事故死者数 5,939人 昭和50年の歩行中の交通事故死者数 3,732人
第二次	昭和51年度 ～55年度	＜昭和55年の目標＞ 過去最高時（昭和45年）の交通事故死者数の半減 16,765人 → 8,382人以下	昭和55年の交通事故死者数 8,760人
第三次	昭和56年度 ～60年度	＜昭和60年の目標＞ 交通事故死者数 8,000人以下	昭和60年の交通事故死者数 9,261人
第四次	昭和61年度 ～平成2年度	＜平成2年の目標＞ 交通事故死者数 8,000人以下	平成2年の交通事故死者数 11,227人
第五次	平成3年度 ～7年度	＜平成7年の目標＞ 平成7年における交通事故死者数（予測値）の減少 13,500人程度 → 10,000人以下	平成7年の交通事故死者数 10,684人
第六次	平成8年度 ～12年度	＜平成9年の目標＞ 交通事故死者数 10,000人以下  ＜平成12年の目標＞ 交通事故死者数 9,000人以下	平成9年の交通事故死者数 9,642人 平成12年の交通事故死者数 9,073人
第七次	平成13年度 ～17年度	＜平成17年の目標＞ 交通安全対策基本法施行以降、最低時（昭和54年）の交通事故死者数8,466人以下	平成17年の交通事故死者数 6,937人
第八次	平成18年度 ～22年度	＜平成22年の目標＞ 世界一安全な道路交通の実現を目指し、 交通事故死者数 5,500人以下 死傷者数 100万人以下	平成22年の交通事故死者数 4,948人
第九次	平成23年度 ～27年度	＜平成27年の目標＞ 世界一安全な道路交通の実現を目指し、 交通事故死者数 3,000人以下 死傷者数 70万人以下	平成27年の交通事故死者数 4,117人